

# しろくま通信



お正月について書いています。

我が国が農耕民族のため、お正月の歳神（としがみ）様には農耕神としての意味もあり、その年の豊作を祈ります。「とし」には、穀物や稲の意味があります。

昔は、大晦日の晩をお正月の始まりとして、ごちそうをいただいていたのですが、今は年越蕎麦をいただきますね。これは江戸時代に始まった習慣のようで、年の瀬を越える前にその年の借金を清算しますから、大晦日は帳簿を締めることで忙しく年越しの夜食となっていました。

蕎麦は細くて長いので、長寿を表す意味もあります。また、金銀細工職人が仕事場に飛び散った金粉を集めるのに、蕎麦を練った団子を畳などに当てて集めたということから「蕎麦は金を集める」という縁起を担いだものでした。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<https://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！